

CITY OF YOKOHAMA

横浜市LED防犯灯 包括的維持管理事業について

(市民局地域防犯支援課)



2026年7月29日



横浜市

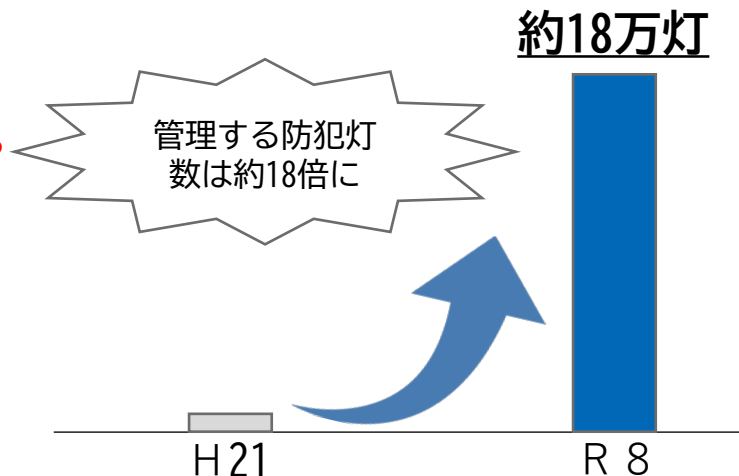


住宅地における
夜間の地域住民の歩行の安全の確保と、
犯罪の防止を図るため、
公衆の用に供する道路を照明する
場所に横浜市が設置、
所有及び維持管理する照明灯

その他、屋外照明には、道路照明灯、商店街灯、公園灯等がある

現状の維持管理

ESC0事業により自治会・町内会で管理していたものを市へ移管し、現在は市内全域**約18万灯を維持管理**。防犯灯の設置基準に基づきGISマップを用いながら、自治会町内会での見守りを前提として維持管理しています。



【現在の主な維持管理の内容】

①自治会・町内会による見守り

②不具合の発見、連絡

③現場確認等の対応

④交換・移設・撤去

維持管理

・ LED防犯灯更新 ・ 移設/撤去 ・ 鋼管ポールの建て替え/長寿命化 等

新規設置

・ 電柱共架型/鋼管ポール型LED防犯灯の新規設置

点検

・ 鋼管ポールの点検

① ESCO事業にて更新した灯具の光源寿命の一斉到来 (R12)

② 財政負担の偏り

③ 防犯灯の日常の見守りの負担

④ 鋼管ポールの劣化等への対策



💡 PFI手法による維持管理への期待 💡

- ・ 防犯灯の設置から撤去まで包括的な維持管理
- ・ 財政負担の平準化
- ・ 効率的な維持管理
- ・ 地域の負担軽減
- ・ 付加価値提案

防犯カメラの新規導入

現状

- ・防犯カメラの市民ニーズは高い
- ・市では自治会・町内会の防犯カメラの設置を補助

課題

- ・設置場所のばらつきが生じている
- ・防犯カメラの維持管理の負担
- ・耐用年数（約5年）経過後の更新

取組

- ・ 市による防犯カメラの新規設置、維持管理
 ▶ **PFI手法に組み込み**、防犯灯の更新と同時に導入

提案への期待

- ・ 設置・維持管理のコスト軽減
- ・ 設置場所の管理、不具合対応、映像管理など管理業務の一括化、効率化

これまでの検討経過

R5からR 7までにサウンディング調査2回、個別対話を5回実施。

事業対象	市内一円、全て(18万灯)の防犯灯を一括管理としたい
事業期間	灯具の一括更新期間(1～3年)も含めて13年程度が適当
手 法	包括的委託契約やPFI契約で実施可能
事業内容	通報受付、維持管理システム運営、灯具更新、不具合修理等を包括的に実施し、維持管理を行う

包括的維持管理

共通業務

- ①通報受付（コールセンター）
- ②管理用名称札の作成・管理
- ③現場調査
- ④関係機関連絡調整

- ⑤ 不具合修理等
- ⑥ 緊急時対応
- ⑦ 安全対策
- ⑧ 業務の記録及び報告 など

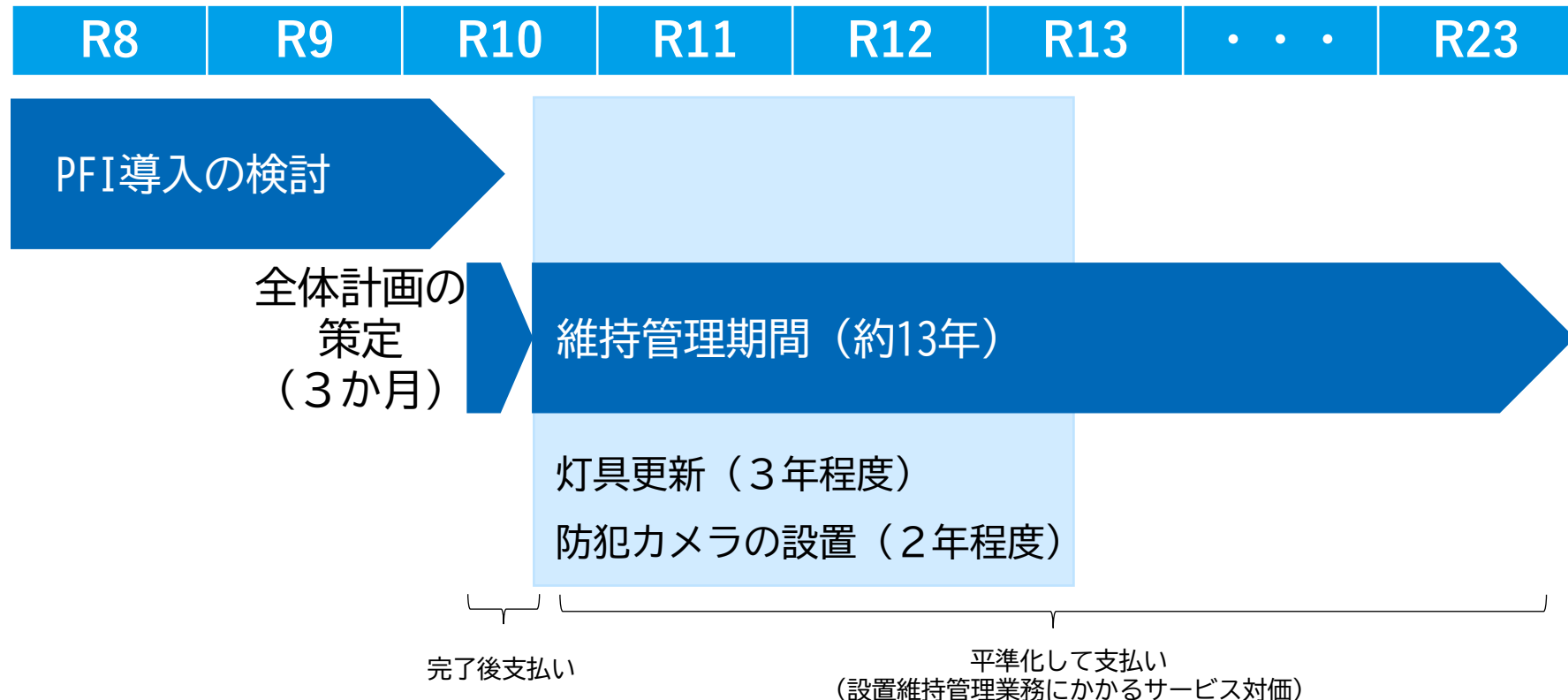
LED防犯灯設置維持管理

- ① LED防犯灯更新
- ② LED防犯灯の移設・撤去
- ③ 鋼管ポールの建替え、長寿命化
- ④ LED防犯灯の新規設置
- ⑤ LED防犯灯一式の維持管理システムの構築と運営
- ⑥ 鋼管ポールの定期点検 など

防犯カメラ 設置維持管理

- ① 新規設置
- ② 稼働・画像管理

横浜市防犯の
まちづくり
推進プラン・
スマート防犯
モデル事業等を
参考とした
付加価値創出



実施予定日：8月31・9月1日～4日までの計5日間

申込期間：7月29日(本日)～8月14日まで

詳細は市ウェブページをご覧ください！

アドバイス・提案いただきたいこと

- 当市の防犯灯・防犯カメラが抱える現状課題に対する解決策の提案
- 効率的かつ効果的な維持管理に関するアドバイス
- 維持管理手法等への提案
- 横浜市防犯のまちづくり推進プランやスマート防犯モデル事業などを参考とした付加価値提案

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA